

# 特別支援教育

## 特別支援教育領域の目的

障害による特別な教育的ニーズのある子どもの教育、心理・生理、教育課程・指導法などに関する総合的、専門的な研究・教育を行います。また、特別支援学校教諭（5領域）一種・専修免許状の取得に対応したカリキュラムを設定して、特別支援教育の理論に基づいた高度な実践的指導力を備えた教員を養成します。



## 学校実習（学校支援プロジェクト）の取組テーマ例

**キーワード①**「特別支援教育、法制度、教育形態、学校運営・経営、教育課程、個別の指導計画、交流及び共同学習、キャリア教育」

特別支援教育の意義、法的位置づけ、教育形態（特別支援学校、特別支援学級、通級による指導）、教育課程編成、個別の指導計画作成等に関する理解を深め、学校運営・経営、個に応じた教育課程の編成と指導、交流及び共同学習やキャリア教育の推進等について支援します。

**キーワード②**「障害のある子ども、心理・行動特性、アセスメント、指導法、配慮事項、教材・教具、評価、授業づくり」

視覚障害児、聴覚障害児、知的障害児、肢体不自由児、病弱児、

発達障害児、情緒障害児、言語障害児、重複障害児の心理・行動特性等の理解を深め、各障害種の子どもに対するアセスメントに基づく個別目標やさまざまな指導法を生かした学習活動、配慮事項の設定、教材・教具の活用、評価等 PDCA サイクルによる授業づくりについて支援します。

**キーワード③**「インクルーシブ教育、通常の学級、授業、合理的配慮、ユニバーサルデザイン、学級経営」

インクルーシブ教育の理解を深め、通常の学級の授業における支援が必要な子への合理的配慮やユニバーサルデザイン、学級経営、通級による指導との連携等について支援します。



## 開設授業科目例

### 特別支援教育原論

我が国における明治期から現在までの障害児教育の変遷過程を、関係法令をもとに講述し、特殊教育から特別支援教育への転換の背景、意義、課題について考察します。欧米諸国の障害児教育についても分析を加えます。

### 視覚障害教育課程・指導法

視覚障害の心理・生理・病理の理解を基盤とし、インクルーシブ時代における視覚障害児（者）のニーズに対応した教育・支援を進めるための基本的理念及び知識、視覚・重複障害児（者）への教育・支援について学修します。

### 聴覚障害心理・生理学論

聴覚器官の構造と機能、聴覚障害の原因となる疾患と特徴、聴力評価、補聴器・人工内耳などについて学修します。

### 知的障害心理・生理学論

知的障害のある児童生徒の理解と支援について、基本的な知識を講義します。知的障害の定義・分類・アセスメント、知的障害の発生に関わる生理・病理、脳の構造と機能等、心理学的特性に応じた教育的支援について理解します。

### 肢体不自由教育課程・指導法

肢体不自由児童生徒の特性を踏まえた教育課程の編成、自立活動を中心とした障害に基づく困難への対応、教科指導、学校卒業後の生活を見すえた移行支援（福祉等外部専門機関連携）等について学修します。

### 病弱心理・生理学論

病弱・身体虚弱の概念、現代の健康観について概説し、病弱教育の対象疾患の主徴、治療管理、心理特性に視点を置いて学修します。

### 発達障害・情緒障害教育総論

通常の学級、特別支援学級（自閉症・情緒障害学級）等に在籍する発達障害（限局性学習症、注意欠如・多動症、自閉スペクトラム症）及び情緒障害（選択性／場面緘黙を含む）のある子どもの教育について学修します。

### 特別支援教育研究法論

特別支援教育に関する研究の倫理に関する理解、研究の全般的な進め方やケースレポートについて講義と演習を併用して行います。文献的、調査的、臨床的、実験的研究やケースレポートのまとめ方の理解を深めます。



## 2022年度担当教員と研究・教育の領域、主要著書、論文、作品等



【教授】  
**大庭 重治**  
(おおば しげじ)  
sohba@juen.ac.jp

視覚障害児、視覚障害のある重複障害児、視覚認知に関する特別な教育的ニーズのある子ども等を対象として、認知特性に応じた学習支援方法の検討とその評価を中心に、小・中学校や特別支援学校において実践的な研究を行う。論文：視覚障害児教育と人間力（「人間力」を考える、上越教育大学出版会、2020年）



【教授】  
**笠原 芳隆**  
(かさばら よしたか)  
kasahara@juen.ac.jp

肢体不自由児の特性に応じた教育課程・指導法や生活を見据えた支援のあり方等について、自立活動の実践、個別の指導計画作成・活用、個別の教育支援計画作成・活用等の視点から研究・教育を行う。論文：自立活動を中心とした個別の指導計画に関する研究動向（特殊教育学研究、第53巻第4号、2015年）



【教授】  
**河合 康**  
(かわい やすし)  
kawai@juen.ac.jp

障害児教育の行政、制度、歴史を研究領域とし、わが国と欧米諸国について比較教育学的観点から教育・研究を行う。主な著書：日本障害児教育史（戦前編）2018年（共著）、（戦後編）2019年（共著）（明石書店）、特別支援教育—一人一人の教育的ニーズに応じて—（編著）（福村出版、2019年）



【教授】  
**藤井 和子**  
(ふじい かずこ)  
fkazuko@juen.ac.jp

言語・コミュニケーション障害のある幼児・児童・生徒の指導について、自立活動の視点から研究を行う。特に、「個別的教育支援計画」「自立活動の個別の指導計画」「各教科等の授業と自立活動の指導との関連」「協働」をキーワードに研究を進める。論文：言語障害通級担当教師の職務認識に関する調査研究（特殊教育学研究、55巻4号、2017年）



【教授】  
**村中 智彦**  
(むらなか ともひこ)  
muranaka@juen.ac.jp

知的障害児や自閉症スペクトラム障害児の教育、特に応用行動分析に基づく個別指導や小集団指導における指導法に関わる実践研究、授業づくりに関わる臨床研究を行う。著書：『困ったからわかる、できるかわる授業づくり』（明治図書、2015年）、『知的障害児の指導における課題遂行の促進』（溪水社、2015年）



【准教授】  
**池田 吉史**  
(いけだ よしふみ)  
yosifumi@juen.ac.jp

知的障害・発達障害児を対象に、認知発達のアセスメントと支援に関する研究を行う。特に、思考や行動をコントロールする能力（実行機能）について実験的研究を進める。論文：発達障害及び知的障害と実行機能（SNE ジャーナル、第19巻、2013年）



【准教授】  
**小林 優子**  
(こばやし ゆうこ)  
yuuko@juen.ac.jp

聴覚障害者を対象とした環境音認知に関する実験的研究や講義場面における情報支援に関する研究、また認知・行動面に困難を有する聴覚障害児の指導法に関する研究を行っている。著書：聴覚情報処理検査 [APT] マニュアル（学苑社、2020年）



【准教授】  
**佐藤 将朗**  
(さとう まさあき)  
sasmaaki@juen.ac.jp

視覚障害児の読みに関する心理学的研究を中心に、視覚・知的重複障害児の触読技能と触覚的コミュニケーションの研究を行う。また健常児への障害理解教育についても構想している。論文：点字触読研究の展望—点字の読みやすさに関する研究知見の指導実践への応用—（特殊教育学研究、第55巻1号、2017年）



【准教授】  
**関原 真紀**  
(せきはら まき)  
maki@juen.ac.jp

元小学校教員・指導主事・特別支援学校教頭。通常の学級における発達障害等の児童生徒への指導や支援、学級づくりや授業づくり、校内体制、関係機関との連携等の実践研究。著書：はじめての学級担任もできる特別支援教育ガイド（明治図書、2021年）



【准教授】  
**八島 猛**  
(やしま たけし)  
yashima@juen.ac.jp

病弱・身体虚弱児における適応の評価と支援に関する研究を行う。特に健康行動と関連がある自己認知について実践的に研究する。論文：青年初期の病弱児における自己評価の発達特性に関する横断的研究（特殊教育学研究、第56巻5号、2019年）



【講師】  
**坂口 嘉菜**  
(さかくち かな)  
kana@juen.ac.jp

聴覚障害児教育・指導法を担当し、聴覚障害児の言語発達・読みの力に関する研究・教材開発を進めるほか、思考力に着目した授業分析を通して実践的研究・教育を行う。論文：教科の視点を忘れない聾教育—文学的文章の「読み」の実践を通して—（聴覚障害、第763巻、2015年）

## ● 特別支援教育実践研究センター

実践的・臨床的教育を通して、実践に役立つ高度な指導力をもつ特別支援教育の教員を養成するための施設として、特別支援教育実践研究センターが設置されています。このセンターでは、特別な教育的ニーズのある子どもの個別指導や小集団指導を通して臨床経験を積み重ね、より質の高い評価・指導方法の習得を目指し、研究・指導を行っています。

